

政策評価調書(22年度実績)

政策名	子育ての喜びを実感できる社会づくりの推進		政策の目的等	子育てに関する多様なサービスの提供や仕事と子育てが両立できる就業環境の整備、保健・医療体制の充実等により、子どもが心身ともに健やかに育ち、安心して子どもを生き育てられる社会づくりを目指す。	主管部局名	福祉保健部
	政策コード	II-2			担当課室名	こども子育て支援課

【政策を取り巻く社会経済情勢】

今後の動向	<p>平成22年の本県の出生数は10,072人、合計特殊出生率は1.55と、いずれも対前年増となったものの、長期的な少子化傾向は変わっていない。(出生数及び合計特殊出生率は、厚生労働省発表の人口動態統計月報年計(概数)の概況値)</p> <p>少子化の進行は、子ども同士が切磋琢磨し、社会性を育みながら成長していくことを難しくさせるだけでなく、労働力人口の減少や経済成長の鈍化、地域社会の活力の低下など、社会全体へ広く深刻な影響を与えることから、これまで以上に子育てにかかる経済的負担の軽減や、子育て世代を社会全体で応援する仕組みづくり、子育ても仕事もしやすい環境づくりなどの施策を重点的に推進することが重要である。</p>
-------	--

【政策を構成する施策の評価結果】

施策名		評価結果		政策との関連度
		業績評価	主管部局評価	
1	次代を担う子どもを社会全体で支える環境の整備	達成	拡充	◎
2	安心して子どもを生き育てられる保健・医療の充実	概ね達成	拡充	○

【構成する施策に対する意見・提言】

<p>○「安心・活力・発展プラン2005」推進委員会(22.7.7)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・共働き世帯への支援が注目されているが、専業主婦への取組も大切である。 ・子育ての中で、「親づくり」の視点が欠けている。 ・ニーズの高い児童相談所の職員を減らされては困る。 ・心理職の高いレベルを保つことが大切。 ・相談時間は長くなるので、相談電話をフリーダイヤルにすると利用者の負担が軽減される。 	<p>○おおいた子ども・子育て応援県民会議</p> <ul style="list-style-type: none"> ・社会全体で子育てを応援する意識づくりが大切。 ・ひとつの人格として子ども自身を尊重していく姿勢の涵養が必要。 ・在宅での子育てに対する更なる支援、特に支援が行き届かない家庭への「届ける支援」の充実が必要。 ・地域コミュニティによる地域の子育て力を高めていくことが大切である。 ・男性(父親)と一緒に参加できる講演会や講習会等の実施を広めてほしい。 ・企業等に対する、子育てのための休暇取得やPTA活動等に参加しやすい職場環境づくりの取組の推進が大切。 ・児童相談所における適材の配置や専門性の向上が重要である。
--	--